

由良中だより

平成 21 年 2 月号 洲本市立由良中学校
電話 27・0122 FAX 25・7011

インフルエンザが猛威を振るっています。皆様お変わりありませんか。さて、三年生は、私立高校出願、公立高校（推薦）出願が終わり、いよいよ入試の開始です。それぞれ個性が違いうように進路も異なります。自分の予定や諸準備・諸注意などには特に注意を払う必要があります。一生の中の大切な節目を迎えて、よりいっそう自覚ある生活や規律ある生活をしてほしいと願っています。また、風邪などに十分注意をし、心身ともにベストコンディションで入試に望んでほしいと思います。

もつと由良中

一 成ヶ島クリーン作戦

1月17日（土）、晴天に恵まれ、予定通り行いました。成ヶ島を美しくする会の皆様をはじめ、PTAや地域の方々など、多くの皆様のご協力が無事終了することができました。本当にありがとうございました。展望台で各学級記念写真を撮った後、今回初めての試みとなる成山オリエンテーリングを行いました。漂着ゴミの量は、例年よりは少な目でしたが、それでも2トンパッカー車1台分と2トントラック4分の1になりました。今後とも地域の皆様のお力添えをよろしく願います。



厄年会 海生会 からご寄贈

厄年会（代表・鵜飼徹様）からのご寄附で、プロジェクター一台とスピーカー一式を購入させていただきました。諸行事に活用させていただきます。本当にありがとうございました。

二 校内書き初め大会 入賞者

- 一年特選 武田瑞紀・伊富貴侑河 入選 西原宗一郎・山本沙季 新川瑠菜
- 二年特選 賀本岳陽・清水寿乃 入選 山中大輔・加田晟香 名田淳美
- 三年特選 長田夏実・西原あかり 入選 山本昂生・土生翔太 向所壮優

三 防災訓練実施

1月20日（火）の6時間目に実施しました。南海地震発生を想定した避難訓練を行った後、各ホームルームで、防災教育副読本を活用して、阪神・淡路大震災について学習しました。（裏面に生徒作文掲載）

四 一年生「わくわくオーケストラ教室」

1月23日、貸切バスで西宮に行ってきました。島内の中学1年生が全員同時に参加し、ホールや施設の見学とオーケストラによるクラシック演奏を体験しました。

今年で3年目となるこの行事は、「阪神・淡路大震災の文化復興のシンボル」として西宮にオープンした兵庫県立芸術文化センター及び同センター管弦楽団の設立を機に、県内すべての中学1年生に本格的な交響楽団の演奏に親しむ機会を設け、音楽を愛好する心情を育て、豊かな情操や感性を身につけた人材を育成することを目的に始まったものです。（裏面に生徒作文掲載）

AED（自動体外式除細動器）寄贈

由良財産区様からAED一式を寄贈していただきました。もしもの時に心強い機器です。本当にありがとうございました。職員室に設置しています。緊急時は、ご利用ください。

生徒指導委員会から

最近の子供の中には「良いこと」と「悪いこと」の善悪の判断が加減であったり、「おもしろい」「つまらない」が行動の基準になっていたりという人がいます。「悪いことは、してはいけない」という規範意識を生徒一人一人が持つて欲しいものです。

保健室から

疲れた時に食べるチョコレートは美味しさもひとしおです。これはチョコレートに含まれる糖分がすばやく血糖値をあげてエネルギーを持続させるからです。チョコレートのカカオには、ストレスへの抵抗力を高めるポリフェノールや、リラックス効果があるテオブロミンが豊富です。また、食物繊維や鉄、亜鉛、マグネシウムなどのミネラルも多いです。しかし、高脂肪、高カロリー食品、食べ過ぎに気をつけてください。

スポーツ由良

「卓球部」 全淡優勝大会（個人戦）

（1月25日、東浦中）1年4人が出場。2回戦1人、1回戦3人。

あと1、2ポイント取れば勝てた試合がほとんど。7日の団体戦をめざして頑張ります。

「バスケットボール部」 全淡優勝大会

（1月31日、三原中）予選リーグ。対東浦中 惜敗。対御原中 惜敗。いずれの試合も前半リードしていただけに残念。4月の選手権大会をめざして頑張ります。

山林芳則投手、大リーグで頑張れ！

すでに新聞等で発表がありました。が、本校出身の山林芳則君が米大リーグのアトランタ・ブレーブスとマイナー契約を結びました。メジャー昇格を目指して頑張ってください。

2月の行事予定

日	曜	行事名
1	日	全淡バスケット優勝大会
2	月	全校集会
3	火	3年面接練習（～6日）
4	水	授業参観日（1・2年懇談会）
5	木	PTA文化部会
6	金	全淡卓球優勝大会（団体戦）
7	土	
8	日	
9	月	私立高校受験事前指導
10	火	私立高校入試1年校内テスト
11	水	建国記念の日
12	木	
13	金	公立高校推薦入試
14	土	
15	日	
16	月	P交通立番
17	火	入学説明会（由良小）
18	水	1年社会生活実習2年校内テスト
19	木	PTA文化部会
20	金	
21	土	
22	日	ALT（～27日）
23	月	
24	火	期末テスト
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
1	日	
2	月	3年校内テスト
3	火	

洲本市人権作文・標語集

『とも生きる』掲載作品



《作文の部》

平和を目指す

三年 山本 昂生

僕は、授業を受けて、戦争や平和のことを知りたが、もつと深く戦争と平和について知りたが思いました。

戦争とは、人々が自分の国などのために、戦って殺し合い、人々に深い悲しみを与えるものだと思つています。一方、平和とは、世の中が穏やかで、人々が安心して暮らしていけることだと思つています。この戦争と平和は辞書で調べても対になる言葉同士です。戦争がなくなら、平和になるためには、どうすればいいのを考えてみました。

日本は約七十年前、中国と対立を強めていた頃、中国で日本軍と中国軍が衝突する事件が起こり、日中戦争が始まりました。この戦争で日本は、多数の中国の住民を殺害しました。戦争は、この日中戦争のように、関係のない人まで巻き込んでしまう悲しいものなのだと思います。一番大きかった戦争の、第二次世界大戦では、ドイツがユダヤ人の絶滅をめざして強制収容所に連行し、約六百万人といわれるユダヤ人を殺害したことが頭に残っています。罪もないユダヤ人がなぜ六百万人も殺されなければならぬのかと思つていました。このユダヤ人が六百万人も殺されたことが、第二次世界大戦の規模の大きさを表していると思つています。

日本は、第二次世界大戦でドイツ・イタリアと同盟を結び、連合国との戦争になっていました。しかも、太平洋戦争を起したり、アジアの民族の人々を戦争に協力させたり、許されぬことをしていました。その一方で、連合国軍の本格的な攻撃により、東京での焼夷弾による無差別爆撃で約十万人が犠牲になるなど、日本も激しい被害を受けていました。

第二次世界大戦で、イタリアとドイツが連合国軍に降伏していききましたが、日本はポツダム宣言を黙殺して、戦争を続けていました。そして、日本は、広島に世界で最

初の原子爆弾を投下されてしまい、その後、長崎にも投下されてしまいました。原子爆弾が爆発すると、建物が一瞬に壊滅し、人々は大量の放射線をあびてしまいました。僕は、この原子爆弾のことを初めて聞いた時、とてもショックを受けました。本などで被爆した人の姿を見たことがありますが、悲しさが伝わってきてとても悲しい気分になりました。原子爆弾で放射線をあびた人々の中には、今も苦しんでいる人がいますが、これが、原子爆弾の一番恐ろしいところだと思つています。戦争が終わつても苦しんでいる人がいるのは、この第二次大戦があつたことを絶対に忘れてはいけないことだと思つています。

日本は、この原子爆弾の投下があつてから、ポツダム宣言を受け入れて、第二次世界大戦が終結しました。僕は、日本がもつと早くポツダム宣言を受け入れていれば、原子爆弾で苦しむ人が出ずにすんだのではと思つています。また、原子爆弾のような残酷な兵器を使って戦争を終わらせたことも悲しいことだと思つています。

結局は、この第二次世界大戦は、全世界で約六千万人にのぼる犠牲者を出したといわれています。この第二次世界大戦で戦争を体験していない僕にも気づかされたことは、戦争をしても何も得ることはないのに戦争をする無意味さ、戦争が終わると人々の悲しさや怒りしか残つていないというむなしさです。

今の日本は、もちろん戦争がない世の中になつています。しかし、他の国では今でも戦争をしているところもあります。僕は日本が平和なのかと考えるようになりました。今、日本が戦争をしていないから、たくさんの方が殺されるようなことはありませんが、日本には人々を怖がらせるような恐ろしい犯罪がたくさん起つています。平和という言葉の意味を考えると、人々が心から安心して暮らせないなら、平和な世の中になつていないといえませんか。僕は、せつかく今、日本は戦争がなく、平和を目指しているのに、自分勝手な犯罪のせいで平和でなくなつていて、とても悲しく思つています。日本や世界が平和になるためには、一人

一人が相手の気持ちや考えていることをもつと理解することが必要です。さらに、無意味な戦争なんかしても悲しみや怒り、むなしさが深く残つてしまふだけだということを知り、平和にしたいという気持ちを持つことが必要です。

一年「わくわくオーケストラ教室」に参加して

小島 和弥



わくわくオーケストラの会場は、思つていたよりも大きかったのでびっくりしました。一番印象に残つた曲は、歌劇「カルメン」の組曲です。オーケストラを聞いたことがなくても、コマーシャルや町の色々な所でかかつていそうな曲だったので、この曲の作曲者のビゼーという人はすごいと思つきました。オーケストラを聞いている時はすごく迫力があつたので、くぎ付けになりました。僕が気に入つた楽器はヴァイオリンとティンパニです。すごくかっこよかつたです。ヴァイオリンをひいていて人達はとても息が合つていてすごいなあと思つきました。

新野 亮輔

音楽にはあまり興味がなかつたけれど、わくわくオーケストラ教室はすごく楽しかつた。兵庫県立芸術文化センターの舞台の周りの壁の形が音を反射させて、お客さんの所まで計算して作られていることが初めて分かつた。楽器紹介もあつた。弦楽器や木管楽器や金管楽器があつた。弦楽器はヴァイオリンなど、木管楽器はフルートなど、金管楽器はトランペットなどがあつた。どれもすごくきれいな音だつた。とてもわくわくオーケストラ教室は楽しかつた。

山添 愛実

今回のわくわくオーケストラは初めてのことがたくさんあり、楽しかつたです。オーケストラは今まで行つたことがないので、吹奏楽で使つている楽器以外は聞いたことがありませんでした。テレビや音楽の授業で聞いた音よりも生で聞いた方が楽器の良さがよく分かり、特にオーボエやファゴット、ティンパニなどがきれいな音だと

思いました。今まで行つたことのないようなきれいで大きなホールでした。壁にも工夫があると聞いていたのですが、文化体育館よりはるかにきれいに聞こえ、すごく考えて作られたホールだと思つきました。好きな曲もあつて、楽しく聞けました。音が大きくびつくりした曲もありましたが、どれもいい曲で、聞いたことのない曲も、聞いたことのある曲も聞いていておもしろく、また行つてみたいと思つきました。

尾田 英誠

わくわくオーケストラの会場には、演奏する人以外にも、照明係、音曲係などさまざまな人が働いていました。楽器の種類もとても多かつた。オーケストラは初めて聞いたけれど迫力があつてCDなどはまったく音がちがうのだと思つた。楽器の並び方にもきちんと意味があつて、音の大きいティンパニや大太鼓などの打楽器は後ろで、おもに前の方はヴァイオリンやチェロ、ピアノなどだつた。

「避難訓練・阪神大震災の学習」をして

二年 川北 光希

ぼくは津波が来たらこわいと思つきました。地震が来て人々が死んでいった話を聞きました。本当に地震はこわいなと思つました。地震が来たらぼくはどこに逃げたらいいのかと思つきました。

二年 松山 拓史

僕の家族の住んでいた所は家がこわれたりせずに、水も出ていたらしいけれど、他の地域となるとものすごいことになつてい。今後どう生活していくかは、とてもためになつた。地震などの災害には日ごろから注意しなければならぬと思つた。

二年 新川 真彦

僕は阪神大震災を経験していません。阪神大震災が起つた時は、お母さんのお腹の中にいました。だから阪神大震災のことは知りません。でも、お母さんが阪神大震災のことを僕に教えてくれたので、どれだけ恐ろしかつたのか分かりました。僕たちの住んでいる由良ではあまり被害はなかつたけれど、東浦など淡路の北部や神戸などでは多数の死者が出て、すごく恐ろしい震災だつたことが分かりました。